

コンピュータでは「葛」が使われるのはなぜか？

コンピュータでは、JIS 情報交換用漢字符号系という規格が使われています。この規格には旧規格である「C6226-1978」以前のものと、新規格である「X0208-1983」以降のものがあります。旧規格（旧 JIS コードと呼んでいます）では、「葛」がコード「1975」で指定されていました。ところが、新規格（新 JIS コードと呼んでいます）では、同じコード番号に「葛」が指定されているのです。その上、「葛」は指定からもれていません。この時、字体が入れ替わった文字は「新旧 JIS 変更字形」などと言われ、ほかにもたくさんの文字の字体が入れ替わりました。

そこで、本区では、ワープロの各メーカーに「葛」の字の搭載をお願いしたり、各新聞社に区名表記の適正化を呼びかけました。（現在、5 大日刊紙では地名としての「葛飾」には、「葛」の字を使用しています）

なお、平成 16 年 2 月 20 日の「JIS 漢字コード表 (JIS X0213)」改正によって、「葛」とされていた字形の例示が「葛」になったことで、今後パソコンなどに搭載される字形が「葛」に移行していくことが期待され、改正された「JIS 漢字コード表 (JIS X0213)」に対応した OS（基本ソフトウェア）では、「葛」の字が、表示できるようになっています。

